

石くり通信

4月号

重力値 事務局長 石川 都

少し前、国内の重力値の基準が四十年ぶりに改定されたというニュースがあり、重力とはもう決まっているものだと思っていた私は驚いた。重力値とは、ものの重さや土地の標高などを決める際の基準だそうで、活断層などの地下構造を調べるのにも用いられるが、この四十年間で地殻変動などにより、実際の重力値との乖離が大きくなったための改定だそうである。その結果、北海道などでは重力値が小さくなり、東北や熊本県などでは地震や地殻変動の影響で大きくなったと言っている。簡単に言えば、地盤沈下した結果、地球の中心により近づいたということなのだろう。ただこの変化は、体重六十キロの人で、千分の五グラム程度で、これは髪の毛の本数、ヤブ蚊の数に匹敵する程度である。それにしても、これまで当たり前のように考えていた重力が、実はこんなに微妙に異なり、精密に決定されていたとは驚きであった。この年になっても世の中は知らないことだらけである。

高級粕漬を作ってみました。 事務 森 絵里子

患者様から酒粕を頂きました。それに味噌、みりん、酒、砂糖を入れて良く混ぜて、試して豚肉を漬けてみました。3日後に焼いて食べたらすごく柔らかくて味が染みていて美味しかったです。残りの酒粕もすべて粕漬けに使用しました。お肉やお魚などどんな食材も柔らかくなり感動しました。しかしその酒粕は貴重なもので、漬けるためではなく甘酒として溶かして飲むものだと後で知りました。粕漬けにするなんてもったいない代物でした。結局美味しい甘酒は一滴も飲めなかったため、来年も頂ける事を楽しみにしてきます☆(笑)

社会人のスタート 事務 田所弓佳

私事ですが、先日三月九日に無事専門学校を卒業しました。それと同時に長い長い学生生活が終わりました。専門学校は二年間ととても短かったので入学式を不安と期待が入り混じった気持ちで迎えたのを今でも覚えています。これからは社会人として学生時代に学んだことを活かして精一杯がんばっていきたく思います☆
この写真は卒業式の時に着た袴の写真です。前は恥ずかしいので後ろ姿です！(笑)



尿の臭い 院長 石川 悟

尿が臭う、という症状で来院する人がいます。食物や薬など体に吸収された物質は分解され、一部は尿になって排出されるので、敏感な人は自分の尿の臭いが日々違うことに気づくかもしれません。薬ではペニシリン系の抗生剤が臭いを発することで有名です。糖尿は糖が尿中に含まれるが、糖のみでは特に臭いせん病状が進行すると、尿にケトン体が出て、果物が熟した臭いがするようになります。「アセトン臭」がします。尿路感染、膀胱炎や腎盂腎炎では、細菌が尿素を分解しアンモニアができるため、公衆トイレのような臭いになります。現在は尿の臭いを分析する方法はありますが、将来臭いセンサーが発達すれば、スマート・トイレで尿をすると「尿の臭いが異常です。かかりつけ医にご相談ください。」という声がかかるかもしれません。

未だに共通点が見つからない 薬剤師 石川 恵

「もうお彼岸過ぎましたよ……」と、空に向かかって叫びたいほど暖かくなならない今日この頃です。が、皆様がいかがお過ごしでしょうか。さて今回は音楽の話も少々。
ミュージシャン系やロックが好きと話すとなんとなく黒い、私の場合こそJPOPやアイドルなども範疇内です。しかしテレビやラジオはほとんど聞かない私。そういった有名どころの曲をどこで知るか……これが未だに不思議なのですが、「何かビビッと来る」(笑)店内で流れるラジオ・店の端にあるTVのCMの曲……特に集中して聞いているわけでもないのに突然電流が走ったように「何この良い曲!？」と反応します。しかしその反応する曲やミュージシャンの共通点は皆無。何よりも自分の感覚が謎な今日この頃です。

4年に1度のWBC 看護師 高山 早苗

2009年、イチローやダルビッシュを擁した韓国との決勝戦。今でもイチローのタイムリーヒットを思い出します。世界一の感動から4年後、準決勝まで行きながら悔しい思いをしました。そして今年、現在我が家では夫婦ともどもサムライジャパンの活躍に熱狂しております。今年も一次、二次ラウンドと全勝し、決勝ラウンドに進みました。チームとしての結束力も強まりノリにノッています。
もともと野球ファンの私たちですが、4年に一度、日本代表として戦う選手たちの姿を感動しながら見ています。この号が発行される頃は世界一が決定しているでしょう。どうぞ日本が優勝しますように!

W入学 看護師 澤田 彰子

今月から子どもが中学、高校へ進学します。真新しい制服に身を包み革靴を試着している2人の姿に成長を感じつつ、あと何年この子たちと一緒に居られるだろうかと思える。とちよつと淋しさを覚えた瞬間でした。

横浜中華街 看護助手 柴田 さち子

横浜中華街は、神奈川県横浜市山下町一帯に所在するチャイナタウンです。一九五五年以前は唐人町や南京町と呼ばれていて、中国各地の地名の上海路、中山路、福建路などには、当地の出身者が多いそう。平日にも限らず驚くほど人が多く、ちよつと足を止めて見ていると迷子になってしまいがち。赤レンガにも足を延ばしてみました。倉庫の中に入ってしまったら、お店がたたくさん入っていました。どこから見ようかと、テンションが上がってしまいました。



我が家のたまごっち 通信・ウェブ担当 石川 香

私が小学生の頃、たまごっちが大流行した。今となってはガラケー並みのアナログぶりだが、当時はまんまるで愛嬌のあるデザインと、育て方によって成長が変わるテクノロジーが何とも斬新であった。動物を飼うのはそんなに楽ではないとの声もあったが、実際に育ててみると、なんとゲームに近い感覚を覚えることがある。色々な情報を集めながら、それぞれの段階をクリアしてゆく。妊娠初期にはつわり対策にいい食べ物や行動、中期には仕事をどの程度までこなすか、後期には出産に向け準備したほうがいい物、いいことなど、雑誌、ウェブできちんと時系列に感づいた、何でも出てくる不思議なママのカバン(マザーズバッグと呼ぶらしい)も、赤ちゃんに必要な物を入れると、自然に自分専用が出来上がった。月齢ごとにそれぞれの段階をクリアし、さて〇ヶ月になったらこれを買ってこれを始める頃ですよ、というステップをこなしてゆく。うちのヒメは先日離乳食を始めて、離乳食教室で習った子供用すり鉢を買った。日立市では近年子育て事業に力を入れているらしく、子育ての講習会が多く、情報を得るのに非常に役に立っていて有難い。散策し情報を手に入れ、新アイテムを入手し、パワーアップを図る。まるでRPGの世界のようで子育てが面白い。